

せかい中にとどきますように

那覇市立天久小学校二年 知念 慶

じいじから

せんそうの話を聞いたよ
にげまどうたくさんの人
子どもだったじいじは
どこにいったらいいか
わからなかった。

だからひっしに前の人に
ついていった。

右へいったら右へ
左へいったら左へ

空からのぼくだん

海からもぼくだん

へいたいさんのこうげき

どこからでも

たまがとんでくる。

すぐくこわかったよ。

じいじがたまにあたらなくてよかったよ。

いきでいてくれてよかったよ。

じいじはおばあちゃんを

おんぶしてにげたんだ。

あるけなくなったけど

大切なおばあちゃん。

おもくても足がつかれても

がんばってあるいた。

「いっばいたまがとんでくるから、

わたしをここにおいてにげなさい。」

それがじいじがおばあちゃんを

見たさいごだった。

じいじは

「かなしかったよ。」

とだけいった。

ぼくもむねがくるしくなった。

じいじから

せんそうの話をきいたよ。

せんそうは、

こわくてとってもかなしい。

ぼくは、せんそうはきらい。

せんそうは、しないよ。

せんそうのないおきなわが

これからもつづきますように。

せんそうのないせかいに

なりますように。

小さなしまの

小さなぼくの声が

せかい中にとどきますように。